

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



UNITE FOR GOOD

2025-2026年度
ガバナー 松下 孝

RI2780地区ポリシー

Have Fun Rotary:ロータリーを楽しもう!



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2025～26年度ガバナー

松下 孝

(伊勢原RC)



「ロータリー財団」について

越年もありましたガバナー公式訪問でしたが3月4日の伊勢原ロータリークラブへの訪問で終了となります。越年で伺ったクラブの皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、「寛容」の心で暖かくお迎え頂きありがとうございました。本年度も残すところ4か月となり、地区としての数値目標の達成に向け皆様のご理解とご協力を頂きたく、今月は「ロータリー財団（TRF: The Rotary Foundation）」についてについてお話ししたいと思います。

ロータリー財団は、国際ロータリーの理念を具体的な行動へと結びつけるために設立された財団であり、世界中のロータリー会員の寄付をもとに、人道的支援と平和構築を推進しています。ロータリー財団と国際ロータリーは独立した法人ですが、理念上も実際も「ひとつのロータリー（One Rotary）」として機能しています。

ロータリー財団はロータリーの使命を達成するための手段です。ロータリー会員は、会費を通じて国際ロータリーを支援し、寄付を通じてロータリー財団を支援しています。

ロータリー財団への寄付は、奉仕活動の資金として使用されます。国際ロータリーや地区の活動費として使われるものではない事をご理解願います。

更に、慈善団体の格付けを行う米国の独立機関、チャリティーナビゲーター（Charity Navigator）が、ロータリー財団に最高の4つ星評価を与えています。この評価は、ロータリー財団の健全な財務状況および説明責任と透明性を認められたこと

によるものです。

寄付の仕組みとして「年次基金」「恒久基金」「ポリオプラス基金」などがあり、特に年次基金への寄付は3年後に地区へ配分される仕組み（シェアシステム）となっています。これにより、自らの寄付が将来、地域や世界の奉仕活動として還元されるという循環が生まれます。寄付文化はロータリーの信頼性と透明性を支える重要な柱です。

年次基金で配分された資金は主に「地区補助金」と「グローバル補助金」として使用されます。地区補助金は、比較的小規模で柔軟な地域プロジェクトを支援する制度であり、地区の裁量により迅速に活用できます。一方、グローバル補助金は、重点分野に合致し、持続可能性と測定可能な成果を備えた国際的プロジェクトに対して使用されます。クラブ単独では難しい規模の事業も、国境を越えたパートナーシップによって実現可能となります。

恒久基金は、「未来のロータリーを支えるための基金」です。恒久基金は元本を永続的に保持し、その運用益のみを奉仕活動に充てるという仕組みを採っています。寄付された資金そのものは使わず、将来にわたり継続的に収益を生み出す“種銭”として大切に守られるのです。

恒久基金は、単年度の成果を求めるものではありません。10年後、50年後、さらには100年後のロータリアンが奉仕活動を展開するための礎です。恒久基金への支援は、未来への最高の贈り物と言えるでしょう。

Have fun Rotary !

(ロータリーを楽しみましょう)

3月は、「水と衛生月間」です。

第9グループ IM報告

第9グループ

ガバナー補佐 **高杉尚男**
(湯河原RC)



2026年1月26日(月)、小田原市の鈴廣かまぼこ株式会社「鈴の音ホール」にて、国際ロータリー第2780地区第9グループのインターシティミーティング(IM)・合同例会(ホストクラブ:小田原RC)が開催されました。来賓として加藤憲一(小田原市長)、松下孝(ガバナー)、中込仁志(ガバナーエレクト)、前田長生(ガバナーノミニ)、栗原和子(第7グループガバナー補佐)、三荒弘道(第8グループガバナー補佐)、生駒秀之(「ロータリーの友」地区代表委員)の各氏にご参加頂きました。

本年度のIM・合同例会では、松下ガバナーが掲げられた地区ポリシー『Have Fun Rotary』「ロータリーを楽しもう」に焦点を当てるべく、テーマを「Have Fun Rotary みんなでロータリーライフをEnjoyしよう」としました。その理由として、このIM・合同例会において集まったロータリアン一人ひとりが心から『Enjoy Rotary』との思いを持つことで、松下ガバナーが掲げられた「ロータリーを楽しむ」ことの実現に近づくのではないかと考えたからです。また、今年度の第2780地区におけるIMのトップバッターであることから、IMの本来の目的(ロータリーに関する知識の向上、優れたリーダーの育成、会員相互の親睦と面識を広め、ロータリーの情報を伝える)のもとに正しく実現されることを心がけました。

そして今年度IMでは、ロータリーの情報を伝えるという大切な目的のため、長年『Enjoy Rotary』を伝播されてきた、2015~2016年度第2780地区ガバナー:田中賢三(パストガバナー(茅ヶ崎RC))に講演をお願いいたしました。《Have Fun Rotary 幸せの条件》との演題で始まった講演は、190名に及んだ出席者の耳目を終始惹きつけていました。講演では公式標語の意味、ロータリー最高の文章として君臨する「ロータリーの目的」、出席100%の価値、といった、長年在籍するロータリアンにも響くものから、ロータリーの全体像、ロータリー財団の仕組み、ロータリーの金看

板である「職業奉仕」についてなど、まだまだロータリーの本質に迫る話に触れる機会が限られているのであろう新会員にとっても有意義な話題まで幅広く、その言葉一つとして聞き逃すまい、と会場内は終始静かな緊張感に包まれていました。また、田中パストガバナーのオリジナルである「ロータリーの大河の系図」、ポール・ハリス「平和な親しみやすい世界」などがプリントされた資料が参加者に配布されたことも、大いに理解を助けてくれたことでしょう。最後に田中パストガバナーは「幸せの条件とは、ロータリーを楽しく学ぶ事、健康を維持する事、仕事に奉仕に邁進する事」と締めくくられ、場内は大きな拍手に包まれました。

講演終了後、松下ガバナーよりIM講評を賜り、本年度IM・合同例会の閉会点鐘を迎えた後、IMのもう一つの大切なお役目であり、会員相互の親睦と面識を深める目的での懇親会が盛大に開催されました。懇親会では各クラブ会員の交流、及び地域連携の強化を図れるようにと、IM実行委員会が中心となって座席の配置や会場レイアウトが工夫されました。アトラクションでは地元の伝統芸能を守る思いも込め、箱根湯本芸能組合の「芸者バンド」にご出演頂き、おかげでロータリアンはわいわいがやがや、アンコールのリクエストも飛び交う大変な盛り上がりとなりました。最後は恒例の「手に手つないで」の大合唱、まさにエンジョイな一日はこうしてお開きとなったのでした。

最後に、今年度第9グループIM・合同例会の開催に多大なご尽力を頂きました、曾我IM実行委員長を始めとする実行委員の皆様、ホストクラブの小田原RCの皆様にご心より感謝申し上げます。IMの報告とさせていただきます。合わせて、この言葉を結びとして、後に続く各グループIMへのエールとさせていただきます。

Have Fun Rotary

『みんなでロータリーライフをEnjoyしよう!』



CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
第9グループ IM報告	3
第4グループ IM報告	4

第8グループ IM報告	5
2025-2026年度 第2回補助金管理セミナー	6
米山学友会総会・終了生のためのオリエンテーション開催報告	7
米山記念奨学金終了生終了式・歓送会開催報告書	8
新会員紹介 他	9

IM

第4グループ IM報告

第4グループ

ガバナー補佐 **大 箭 剛 久**

(茅ヶ崎RC)



2026年2月1日(日)、レンブラントホテル海老名におきまして、第4グループのIMが開催されました。今回は「Have Fun Rotary～学而編」というテーマを掲げました。学而とは「学びて時に之を習う。また楽しからずや」という論語の有名な一節で、現代語に訳せば「学んだことを時々実践してみることは何と楽しいことではないか」といった意味合いになります。これは正にロータリーの「入って学び、出でて奉仕せよ」の教えに通じるものであり、松下ガバナーの地区ポリシーである「Have Fun Rotary」とも親和性の高い言葉であろうという考えのもと、採択した次第です。

学びの題材としてはインターネット犯罪について取り上げました。21世紀初頭に普及し始めたインターネットは、今日に至るまでにその利便性を飛躍的に向上させ、誰もがネットを通じて様々な物品を購入したり、情報を検索・入手したりと、私たちの生活に不可欠なものとなっています。その一方で、ネットで全てを完結できてしまう現状は、人と人とのコミュニケーション能力を低下させて社会の分断を生み出したり、また詐欺やいじめの温床となって高齢者や青少年などの社会的弱者を狙った犯罪に利用されてしまう危険も孕んでいます。長年にわたり平和を希求し、青少年奉仕の活動を続けてきたロータリーが、この現状に対して何かできることはないのか、皆様とともに考

えるきっかけになればと考えました。

基調講演は、財団学友でもある、株式会社インターネットイニシアティブにてビジネスリスクコンサルティング本部・副本部長をお務めの宮岡泰治様にご登壇いただき、「青少年を巻き込むネット犯罪の現状と対策」についてお話をいただきました。特にダークパターンと呼ばれる、故意にユーザーの勘違いを誘うように設計された誇張表現(あるいは偽情報)などのECサイト上の掲示を見破るためのリテラシーを、青少年に啓蒙していくための官民一体となった取り組みなど、示唆に富んだ講演内容であったと感じております。その後のテーブルディスカッションでは、基調講演の内容に加え、インターネット環境に関する法整備や、ネット利用の低年齢化・長時間化、闇バイト対策、広報・啓発の在り方、生成AIへの対応など8つの課題について話し合っていました。

懇親会は、茅ヶ崎ロータリー楽団による演奏に始まり、パラレルワールドからやってきた松平健氏の乱入などもありましたが、ロータリーの寛容の精神に基づき、第4グループの皆様の暖かい視線の中で無事に終了することができました。杉田委員長を始めとするIM実行委員会の皆様、そしてホストクラブの茅ヶ崎RCの皆様には私のわがままに最後までお付き合いいただき、誠にありがとうございました。この紙面をお借りいたしまして、改めて感謝申し上げます。



松下ガバナー



IM講師 宮岡様



パラレルワールドから来た松平健氏



茅ヶ崎RCバンド

第8グループ IM報告

第8グループ

ガバナー補佐 三 荒 弘 道

(平塚RC)



雪が舞う2月7日(土)大磯プリンスホテルに於いて、第8グループインターシティミーティングが開催されました。今回のIMは「結ぶ ～奉仕を楽しむことが新たな絆を結ぶ～」のテーマの下、多くの会員の皆様にご参加頂き、盛会のうちに開催することができました。ご臨席賜りました松下ガバナーを初めとするご来賓の皆様は元より、開催にあたりご尽力頂いた各クラブ会長・幹事並びに実行委員会の皆様に心より御礼申し上げます。

本IMでは、クラブの枠を超えた交流を深めるとともに、地域社会におけるロータリーの役割を改めて確認する貴重な機会となりました。プログラムの一環として実施したエクスカージョンでは、「澤田美喜記念館」「鳴立庵」をピックアップし、ホストを努めた大磯ロータリークラブのエリア地域の魅力や歴史に触れながら学びを深める機会は、新たな交流の輪を広げるものとなりました。雪が舞う寒い日になりましたが、ご参加いただいた皆様と有意義な時間を共有できましたことを大変嬉しく思います。

基調講演では、エリザベス・サンダース・ホーム一寸木施設長のご講演を賜り、澤田美喜女史の創園の理念を礎に、長年にわたり地域福祉を支えてこられた歩みと、その根底にある深い愛情と奉仕の精神についてお話をいただきました。人に寄り添い続けるその真摯な姿勢は、私たちロータリアンに多くの示唆を頂戴する大変意義深い時間となりました。その後8グループ内6クラブ各代表からの奉仕活動報告を頂き、お隣のクラブの奉仕活動を知る中で、新たな学びと気づきを頂戴できる絶好の機会となりました。

また、懇親会では大磯プリンスホテルの美味しい料理を味わう中で、第8グループ内各6クラブ代表から歌の披露をして頂きました。6クラブそれぞれ個性溢れる内容で、終焉まで和やかに、笑いの絶えない懇親会となりました。また今回の懇親会では来賓席以外、くじ引きでのランダムな席次とさせて頂き、ベテラン会員、若手会員、等しく新たな交流が生まれたものと思っております。

現代社会は大きな変化の只中にあり、地域が抱える課題も複雑化しています。そのような時代だからこそ、ロータリーの精神である「超我の奉仕」を実践し、互いに学び合いながら行動していくことが求められています。本IMが、その一助だったのであれば、ガバナー補佐としてこれに勝る喜びはありません。今後も第8グループが相互理解と友情を基盤に、それぞれの強みを活かしながら地域社会の発展に寄与していくことを期待しております。結びに、本会の開催に際しご支援・ご協力を賜りました全ての皆様に深く感謝申し上げ、開催報告と致します。



セミナー

2025-2026年度 第2回補助金管理セミナー

財団補助金・VTT委員会

副委員長 **義 澤 彰**
(RC)



2026年1月31日(土)相澤ビル8階にて、2025-2026年度第2780地区補助金管理セミナーが行われました。このセミナーは2025年7月12日(土)にも行われており、今回が第2回となります。補助金管理セミナーは、グローバル補助金を申請する上でクラブの担当者が必ず受講し、修了証をいただかないと申請出来ない事となっております。

当日はグローバル補助金申請に向けてセミナーとは別に相談会を用意しており、セミナー前とセミナー後に別れて当委員会委員がご相談にあたりました。今回は5つのクラブが参加いたしました。

最初にR財団委員長・田島敏久PGよりご挨拶をいただき、セミナーが開始されました。

今年度は次年度以降の委員会活動を見据えて、各委員にグローバル補助金ガイドを元に説明を行ってもらい、ガイドの再確認と勉強を兼ねて担当を振り分け、説明を行ってもらいました。

最初に地区補助金・VTT委員会・吉野龍彦委員長(平塚湘南)より①グローバル補助金の要件及び流れ、②クラブ参加資格認定について説明が行われました。

続いて柳川和秀委員(秦野)より、セッション1：持続可能なインパクトをもたらす。①持続可能性と地域社会優先課題と強み、

②重点分野について説明が行われました。セッション2：パートナーシップで最大の効果を生む。①パートナーシップの要件、②提唱者の役割、③協力団体についての説明。

セッション3：プロジェクトを立案する。①計画、②測定可能な目標を設定する、③財務管理計画の設定、④資金の調達についての説明が行われました。

続いて高田高広委員(鎌倉)より、セッション4：補助金を申請する。①始めよう、②補助金の受領資格がない。

セッション5：プロジェクトを実施、モニタリング、評価する。①プロジェクトの実施、②モニタリングと評価について説明が行われました。

続いて高橋隆一委員(横須賀)より、③財務の透明性、④審査、視察、監査。

セッション6：中間報告と最終報告、①報告案件について説明が行われました。

最後に公務で参加出来なかった松下ガバナーの代わりに、中込ガバナーエレクトから閉会のご挨拶をいただき、セミナーは終了となりました。セミナーを受けられました各クラブの皆様のご活躍をご期待申し上げます。

※グローバル補助金ガイドは、My Rotary⇒リソース⇒ロータリーの補助金(リソースをみる)⇒一般的な資料からダウンロードできます。



米山学友会総会・終了生のためのオリエンテーション開催報告



地区米山奨学委員会

委員長 **米 山 俊 二**
(平塚RC)

2025～2026年度上半期の米山学友会総会・及び終了生のためのオリエンテーションを2月8日(日)に終了式・歓送会の前段に開催をいたしました。当日は昨日からの雪で開催自体が危ぶまれ、悪天候の為若干の遅参者もございましたが、無事に開催することが出来ました。まず米山学友会総会では今年度開催して参りました前半戦の事業についての報告と、会計より決算状況の報告が行われました。また、今年度は役員が仕事の都合で母国に帰国してしまったという経緯から、役員代理という形で補欠としての役員補充を学友に報告いたしました。また、今

後の事業の日程や内容の報告をして閉会となりました。

総会終了後には、奨学生終了生への米山学友会への入会と終了奨学生の情報登録について、先輩にあたる学友から説明を行い、終了生が学友会への入会と登録を行いました。

現在の米山学友会は活躍できる学友が少ない状況が続いております。今年度の終了生が新規学友となつての活躍を、我々米山奨学委員会一同ご期待申し上げ開催の報告とさせていただきます。米山学友会の更なる発展を祈念申し上げます。



米山奨学生

米山記念奨学金終了生終了式・歓送会開催報告書



地区米山奨学委員会

委員長 **米山俊二**
(平塚RC)

2025～2026年度米山記念奨学生終了式・歓送会を、2月8日(日)に開催をさせていただきました。当日は前日より各地において雪が降っており、開催自体が危ぶまれ、終了生やカウンセラーの遅参等がありましたが、無事に定刻通り開催をすることが出来ました。今年度の奨学生終了生は19名で全員が前段の学友主催の奨学生オリエンテーションにて学友になる手続きを行い、終了式において松下ガバナーより正式に終了証書を贈呈され正式に学友となりました。相澤米山記念奨学会副理事長からは終了記念品も贈呈されました。松下ガバナーからは今後の米山学友としての米山諸事業の活躍に期待をしたいとお言葉もいただきました。世話クラブのカウンセラーの方々にもお世話をいただいた感謝状を贈呈させていただきました。終了生とカウンセラーで揃っての記念撮影を行い終了生からは、一言ずつ感謝の言葉を述べました。また指定校の担当教諭の皆様もご参加をいただき、日頃より留学生の推薦そして米山奨学事業への理

解に感謝を込め、松下ガバナーより記念品の贈呈をさせていただきました。カウンセラーを代表しての送辞と終了生を代表としての答辞を2クラブ行い、最後には米山記念奨学会より柚木顧問より終了生全体への送辞をお話していただきました。閉会のお言葉を中込ガバナーエレクトよりいただき無事に終了式を閉会させていただきました。

続いて会場を歓送会の場所へ移動し歓送会を開催しました。天候の為参加者全員での参加には至りませんでした。盛会に開催でき終了生・そして継続性として残る奨学生や、カウンセラー、担当教諭、地区役員、委員会メンバー、多くの皆様を交えての歓送会として懇親を深めることが出来ました。当日は悪天候ではありましたが、特に事故もなく開催できました事を、ご参加いただいた皆様方に心より感謝申し上げます。今後も更に米山奨学事業は未来永劫続いて参ります。皆様のご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。開催報告とさせていただきます。



新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



ながさか あきはる
長坂 昭治
①本厚木
②2025. 08. 21
③建築設計業
④馬場 雄一、
松本 聡



あらお りゅういち
荒尾 竜一
①厚木中
②2025. 09. 10
③土木業
④小島 正也、
佐藤 慎哉



ささき たかし
佐々木 孝
①厚木中
②2025. 10. 01
③ガス供給
④藤川 孝幸、
小島 正也



かのう みのる
加納 稔
①秦野
②2025. 11. 11
③証券業
④西田 英史、
大川 渉



いしかわ こうき
石川 孔紀
①横須賀
②2025. 11. 14
③スポーツ事業
④鈴木 孝博



じんざ ゆずる
神坐 譲
①横須賀
②2025. 11. 21
③保険業
④八木 達也



あんの いっせい
安野 一生
①箱根
②2025. 11. 25
③私立学校
④田中 久士、
勝俣 和久



とさ こうたろう
土佐 幸太郎
①茅ヶ崎
②2025. 12. 01
③商業銀行
④富田 桂司



まえざわ なおき
前澤 直樹
①秦野
②2025. 12. 02
③ガス事業
④柳川 和秀、
和田 俊弘



やまぐち けいすけ
山口 圭輔
①秦野
②2025. 12. 02
③住宅設備
④和田 俊弘、
前澤 直樹



とやま しげき
遠山 茂樹
①三浦
②2025. 12. 04
③生命保険業
④阿部 一也



いしい りょうぞう
石井 良三
①本厚木
②2025. 12. 04
③自動車整備業
④松本 聡、
北村 太



いのうえ よしのり
井上 佳範
①箱根
②2025. 12. 16
③ホテル
④瀬戸 弘之、
井島 章博



よしのたに がく
吉野谷 岳
①ふじさわ湘南
②2026. 01. 01
③総合建設業
④黒川 真



しぶや しんいち
澁谷 伸一
①相模原ニューシティ
②2026. 01. 03
③不動産賃貸業
④大隈 秀仁、
山口 章



はぎの たけとし
萩野 壮俊
①藤沢西
②2026. 01. 08
③生命保険業
④駒井 洋之



もりや こうめい
守屋 孔明
①秦野
②2026. 01. 13
③建設業
④和田 俊弘、
柳川 和秀



おおの にしか
大野 二千翔
①藤沢東
②2026. 01. 20
③建設業
④田中 繁



きくち あつし
菊池 敦
①平塚
②2026. 01. 29
③旅行業
④高橋 建二、
高橋 賢二



ほうぞうじ さとし
宝蔵寺 賢
①平塚
②2026. 01. 29
③塗装・防水工事業
④高橋 建二



さいだいじ まさひろ
西大寺 将大
①相模原ニューシティ
②2026. 02. 01
③不動産業
④清水 利成



とこしま あつし
床島 淳
①鎌倉
②2026. 02. 10
③銀行
④久保田英男

訃報 ご冥福をお祈り致します



きたむら きみこ
北村 公子 (茅ヶ崎RC)
2025年12月14日逝去 (享年81歳)

2014年10月02日 入会
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー1回
米山奨学会 マルチプル1回

第2780地区 2025年1月末 会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数										
			1月末		年 初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減		
			男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	
1	横 須 賀	3	113	16	111	16	3	1	1	1	2	0	
	横 須 賀 北	3	24	4	22	5	3	0	1	1	2	-1	
	三 浦	3	56	5	57	5	1	0	2	0	-1	0	
	横 須 賀 西	4	18	0	15	0	3	0	0	0	3	0	
	横 須 賀 南 西	3	14	1	13	1	1	0	0	0	1	0	
	横 須 賀 RAC	2	12	1	4	0	8	1	0	0	8	1	
	計		237	27	222	27	19	2	4	2	15	0	
	R C 合計		225	26	218	27	11	1	4	2	7	-1	
	R A C 合計		12	1	4	0	8	1	0	0	8	1	
	2	鎌 倉	4	71	14	69	13	5	1	3	0	2	1
逗 子		2	38	6	38	6	1	0	1	0	0	0	
鎌 倉 大 船		3	14	1	12	0	2	1	0	0	2	1	
葉 山		3	17	4	16	4	1	0	0	0	1	0	
鎌 倉 中 央		2	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0	
鎌 倉 RAC		2	10	7	8	6	5	2	3	1	2	1	
計			165	39	158	35	14	5	7	1	7	4	
R C 合計			155	31	150	29	9	2	4	0	5	2	
R A C 合計			10	7	8	6	5	2	3	1	2	1	
3		藤 沢	3	42	8	39	9	5	0	2	1	3	-1
	藤 沢 西	3	25	1	22	1	3	0	0	0	3	0	
	藤 沢 東	3	42	8	32	6	10	2	0	0	10	2	
	藤 沢 北 西	2	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	
	藤 沢 南	2	53	9	48	9	6	0	1	0	5	0	
	藤沢南デイスカパーローター衛	1	33	5	24	3	9	2	0	0	9	2	
	ふじさわ湘南	3	34	0	33	0	2	0	1	0	1	0	
	かながわ湘南	2	19	12	19	12	0	0	0	0	0	0	
	アーカス湘南	4	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0	
	イノベーションゲートウェイ湘南	2	35	4	39	4	2	0	6	0	-4	0	
かながわ DEI	2	21	7	26	10	2	1	7	4	-5	-3		
計		316	56	294	56	39	5	17	5	22	0		
4	茅 ヶ 崎	4	45	4	47	4	3	1	5	1	-2	0	
	寒 川	3	37	4	37	4	0	0	0	0	0	0	
	綾 瀬	3	32	1	32	1	1	0	1	0	0	0	
	茅 ヶ 崎 湘 南	4	40	1	41	1	0	0	1	0	-1	0	
	茅 ヶ 崎 中 央	4	51	3	50	2	3	1	2	0	1	1	
	綾 瀬 春 日	3	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0	
	計		225	13	227	12	7	2	9	1	-2	1	
	5	相 模 原	3	68	9	69	9	0	1	0	-1	0	
		相模原グリーン	3	46	4	45	4	1	0	0	0	1	0
		津 久 井 中 央	3	22	4	22	4	0	0	0	0	0	0
相模原橋本		3	70	9	70	8	4	1	4	0	0	1	
相模原ニューシティ		2	58	8	55	7	5	1	2	0	3	1	
相模原おださが		2	48	5	38	2	10	3	0	0	10	3	
相模原 RAC		0	32	14	29	12	3	2	0	0	3	2	
計			344	53	328	46	23	7	7	0	16	7	
R C 合計			312	39	299	34	20	5	7	0	13	5	
R A C 合計			32	14	29	12	3	2	0	0	3	2	
6	厚 木	3	33	1	32	1	2	0	1	0	1	0	
	大 和	3	29	3	26	3	3	0	0	0	3	0	
	大 座 間	2	34	4	33	3	4	1	3	0	1	1	
	大 和 中	3	26	1	26	1	2	0	2	0	0	0	
	厚 木 中	3	22	0	20	0	2	0	0	0	2	0	
	大 和 田 園	3	25	1	22	1	4	0	1	0	3	0	
	大 海 老 名	2	56	6	54	5	4	1	2	0	2	1	
	海 老 名 櫻	4	34	5	33	5	1	0	0	0	1	0	
	厚 木 県 央	4	36	3	36	3	3	0	3	0	0	0	
	本 厚 木	2	37	4	34	4	4	0	1	0	3	0	
厚 木 中 RAC	0	4	1	4	1	0	0	0	0	0	0		
計		44	29	320	27	29	2	13	0	16	2		
R C 合計		332	28	316	26	29	2	13	0	16	2		
R A C 合計		4	1	4	1	0	0	0	0	0	0		
7	秦 野	3	53	8	50	8	5	0	2	0	3	0	
	伊 勢 原	4	54	4	52	4	2	0	0	0	2	0	
	秦 野 中	4	35	1	35	1	0	1	0	1	0	0	
	伊 勢 原 中 央	3	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0	
	秦 野 名 水	3	11	5	11	5	0	0	0	0	0	0	
	伊 勢 原 平 成	3	21	2	21	2	0	0	0	0	0	0	
	計		188	20	183	20	8	0	3	0	5	0	
	8	平 塚	4	69	5	66	5	4	0	1	0	3	0
		大 磯	3	11	2	11	2	0	0	0	0	0	0
		平 塚	3	26	5	26	5	0	0	0	0	0	0
二 宮		3	9	3	10	4	0	0	1	1	-1	-1	
平 塚 西		3	24	1	24	1	1	0	1	0	0	0	
平 塚 湘 南		3	51	10	47	9	4	1	0	0	4	1	
計			190	26	184	26	9	1	3	1	6	0	
9		小 田 原	3	72	4	68	4	4	0	0	0	4	0
		湯 河 原	2	21	3	20	3	2	0	1	0	1	0
		箱 根	3	36	2	34	2	3	0	1	0	2	0
	小 田 原 北	3	27	1	26	1	1	0	0	0	1	0	
	小 田 原 城 北	3	38	4	35	4	3	0	0	0	3	0	
	小 田 原 中	3	45	5	47	5	0	0	2	0	-2	0	
	足 柄	3	30	5	30	5	0	0	0	0	0	0	
	小 田 原 城 北 RAC	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
	計		271	24	262	24	13	0	4	0	9	0	
	R C 合計		269	24	260	24	13	0	4	0	9	0	
R A C 合計		2	0	2	0	0	0	0	0	0	0		
10	相 模 原 南	3	54	12	52	10	3	2	1	0	2	2	
	相 模 原 中	3	31	3	26	4	7	0	2	1	5	-1	
	相 模 原 西	3	31	3	33	3	0	0	2	0	-2	0	
	相 模 原 東	2	15	3	17	3	1	1	3	1	-2	0	
	相 模 原 柴 胡	2	25	3	25	3	0	0	0	0	0	0	
	相 模 原 か め り あ	1	27	24	28	25	0	0	1	1	-1	-1	
	計		183	48	181	48	11	3	9	3	2	0	
	R C 合計		67	2,395	311	2,312	302	156	21	73	12	83	
	R A C 合計		5	60	23	47	19	16	5	3	1	13	
	総 計		2,455	334	2,359	321	172	26	76	13	96	13	

[7月1日会員数変更 相模原RAC 女性人数 14名⇒12名]

本年度入会者数(人)			本年度退会者数(人)			本年度会員数増減数(人)			地区内クラブ		地区内会員総数(人)	
RC	156	(21)	RC	73	(12)	RC	83	(9)	RC	67	RC	2,395
RAC	16	(5)	RAC	3	(1)	RAC	13	(4)	RAC	5	RAC	60

()内は 女性会員

Rotary International District 2780

2025~2026 Governor Takashi Matsushita

OFFICE / Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel: +81-466-25-8855 Fax: +81-466-25-8866

**UNITE
FOR
GOOD**

2025~2026年度ガバナー 松下 孝

事務所 / 〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel: 0466-25-8855 Fax: 0466-25-8866
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp
URL: https://rid2780.gr.jp/